

## ワールドスケートジャパン スケートボード

### 2023 年国際大会派遣基準

#### 国際大会派遣基準

- ・OWSR ポイントが付与される国際大会への派遣選手は原則として WSJ の強化指定選手を対象に行う
- ・国際連盟ランキング 30 位まで (2022 年 10 月現在) を上位から優先して派遣するが、国際連盟より付与されるシード権および大会への参戦権の人数は大会により変動する可能性があるため必ずしも 30 位までにしない場合がある  
※2022 年 10 月現在の国際連盟規程では、世界ランキングが落ちてシードおよび参戦権付与の対象でなくなった場合で、かつ、その選手が強化指定選手になっていない場合は国際予選大会への出場権を全て失う事となる
- 最大派遣人数は原則として 1 カテゴリー最大 6 名までとするが、シード選手及び参戦権を保持する選手が多数の場合、最大数を超えても WSJ 強化指定選手 3 名を派遣対象とする  
※シード選手および参戦権を保持する選手は WSJ 国際派遣条件を順守することより派遣対象となり、WSJ ランキングによって派遣対象となる選手はランキング順に上位 3 位までの選手を派遣対象とする
- ・2023 年 1～5 月末 日本選手権のリザルト順
- ・2023 年 6～12 月末 WSJ ランキング順 (日本 OPEN の開催時期により多少変動する場合がある)
- ・国際連盟より付与される国ごとの参加枠は各カテゴリー 6 名 (大会により変動する可能性あり)
- ・国際連盟より付与されるシード参加権を保有する選手を上位より優先し派遣するものとする

順位	2022 日本選手権	2023 春 日本 OPEN
1 位	3,000P	1,900P
2 位	1,100P	500P
3 位	900P	400P
4 位	700P	300P
5 位	500P	200P
6 位	300P	100P
7 位	200P	80P

8位	100P	60P
9位	50P	30P
10位以下	48P~(以降-2P)	28P~(以降-2P)
予選落ち	一律 2P	一律 2P

※同ポイントの選手がいた場合は日本選手権の順位の高いほうを上位とする

- ・ 権利辞退選手がいる場合においても選手の繰上げは行わない
  - ・ 渡航費用負担は強化指定選手ランクに準ずる
  - ・ 国際大会派遣人数については別途説明した通り。※2023年強化指定選手選考基準と処遇参照
  - ・ 未成年者は保護者の同意書が必要となり、さらに中学生未満の選手は保護者および保護者が認めた代理人の同伴が基本となる。その場合の保護者の遠征費用は全額自費となる
  - ・ 選手の宿泊は原則として2名以上複数の同室とする
  - ・ 国際連盟の派遣基準が変更になった場合、それに伴いWSJ派遣基準も更新する場合がある
  - ・ 国際オリンピック委員会(IOC)及び国際連盟が予選規程を変更・修正した場合や、大会が延期となった場合は必要に応じて本基準も変更する場合がある
  - ・ パンデミックや戦争等の世界情勢により国内での選手選考が困難になった場合は本基準を変更することがある
  - ・ JOC派遣大会の中でオリンピック大会以外のIOC・OCA等の選手選考については選考大会を設け、成績上位からWSJの定める人数を派遣対象とする  
選考大会の開催が不可能である場合はWSJランキング順位のポイント上位から選出し、派遣対象とする
- ※2023年9月開催予定のアジア競技大会は2022年11月開催の日本選手権が選考大会となる

令和4年10月1日